



竹久夢二《舞妓舞扇》1917（大正6）年
—「竹久夢二展—憧れの欧米への旅—」より—

竹久夢二展 —憧れの欧米への旅—

特別陳列

尊經閣文庫所蔵

『古事記』と国宝『日本書紀』

【前田育徳会尊經閣文庫分館】

国宝《日本書紀 卷第十一》（部分）前田育徳会蔵
—特別陳列 尊經閣文庫所蔵「『古事記』と国宝『日本書紀』」より—

■ 古九谷と再興九谷Ⅱ【古美術】

■ みんなで楽しむ はじめての工芸Ⅰ【近現代工芸】

■ 鴨居玲 創造の軌跡【近現代絵画】

■ 優品選【近現代絵画・彫刻】

- 〔企画展Topics〕
加賀宝生のすべて—能面と能装束—
- 〔展覧会回顧〕
師弟の共演—石川ゆかりの作家と巨匠たち—
- 当館所蔵作品が切手になりました
- 学芸室の人々
- 8月の行事予定

◆夜間開館

8月6日（土）、12日（金）、13日（土）は20時まで（入場は閉場の30分前まで）

企画展(第7~9展示室) 竹久夢二展 一憧れの欧米への旅一

主催/北陸中日新聞、石川テレビ放送、石川県立美術館

後援/石川県、金沢市、金沢市教育委員会、NHK金沢放送局、エフエム石川 特別協賛/東海東京証券

協力/竹久夢二文学館神戸文庫 監修/中右瑛(国際浮世絵学会常任理事) 企画協力/ステップ・イースト

8月6日(土)~9月4日(日) 会期中無休

叙情的な作風と限りない愛を求めた自由奔放な生き方で、今なお多くのファンを魅了する画家・竹久夢二(一八八四~一九三四)。

本展では、日本有数の夢二コレクターである中右瑛氏の貴重な所蔵品の中から、肉筆画や版画、デッサンのほか、夢二最後の旅である欧米滞在時のスケッチなど、約二四〇点を特別公開します。今もなお、多くの人々を惹きつける夢二の世界をお楽しみください。

■観覧料

一般…一〇〇〇円(九〇〇円)

高校・大学生…八〇〇円(六〇〇円)

小中学生…五〇〇円(三〇〇円)

※()内は前売り、20名以上の団体料金

※未就学児無料

※身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者福祉手帳、ミライロIDをご提示の場合は、ご本人様は前売り料金、そのお付き添い1名様は無料でご入場いただけます。

※各種割引は重複してご利用いただくことはできません。ご了承ください。

■関連イベント

◇記念講演会「夢二4人の恋人たち」

日時…8月6日(土) 13時30分~15時

※開場13時

講師…中右瑛氏

(本展監修者、国際浮世絵学会常任理事)

会場…石川県立美術館 ホール

定員…先着200名、聴講無料

※聴講には本展の観覧券(観覧済み半券可)が必要
※就学前のお子様はご遠慮ください。

◇日本舞踊とトークで楽しむ!夢二の世界

日時…8月20日(土) 13時30分~15時

※開場13時

出演…日本舞踊公演/

花柳 壽菜(中日名扇会常任理事)社中、

花柳 佳代穂(中日名扇会理事)社中

トークショー/

太田 昌子氏(金沢湯涌夢二館館長)×

松岡 理恵氏(ラジオパーソナリティー)

会場…石川県立美術館 ホール

定員…先着200名、鑑賞無料

※鑑賞には本展の観覧券(観覧済み半券可)が必要です。就学前のお子様はご遠慮ください。

※やむを得ず、出演者が変更となる場合がございます。

※当日9時30分から展覧会当日券売り場で整理券を配布します。無くなり次第、配布終了。



《着物の女》
1931~1933 (昭和6~8) 年



(No.420 「薔薇の花」)
1916年~ (大正5年~昭和初期)

尊經閣文庫所蔵『古事記』と国宝『日本書紀』

8月6日(土)～9月5日(月) 会期中無休

学芸員の眼

「加賀は天下の書府」と新井白石に称されたように、綱紀は中国と日本の書籍典籍の収集にとてもまなまな。今回このコレクションの中からなにを紹介しようか考えたのですが、夏休み中ということもあって、小学生でも知っている『古事記』と『日本書紀』を紹介することにしました。

『古事記』はわが国最古の歴史書で、神武天皇から推古天皇までの出来事が記されています。神話や伝説から生まれた物語も多く、小学生でも読みやすく親しめる古典といえましょう。しかし、原本は漢文体で、なかなか読みづらいですが、「ひらがなが登場する前の書物は、漢字ばかり」と気づけば納得できます。

『古事記』は上中下の三巻からなり、上巻は、序文のあと、「天地初発之時」で始まります。天地がはじめて起こったのは、「高天ノ原」であり、その天ノ神の住む場所にいる神の名は、「天之御中主神」「高御産巢日神」「神産巢日神」の「造化三神」で、三柱として単独の神であり、身を隠していると記されています。

今回展示する『古事記』は慶長十一年（一六〇六）に写された冊子本です。見開きで紹介するのは、「臣安萬侶言」という太安万侶の語りで始まる序文の一部で、釈文と解説文を添えて、わかりやすくご紹介します。

《古事記》

『日本書紀』は、奈良時代の国家によって編纂された、最初の歴史書です。神話時代の説話から、持統天皇の時代の出来事までが漢文体で記されています。編者は舎人親王で、三十巻からなります。その成立以降も、各時代において重宝された歴史書ですが、三十巻揃って伝わる写本は江戸時代以降のもので、それ以前の写本は断片的に伝わるのみです。

国宝に指定されている前田育徳会所蔵の『日本書紀』は、巻第十一の仁徳天皇紀、巻第十四雄略天皇紀、巻第十七継体天皇紀、巻第二十敏達天皇紀の四巻で、平安時代後期に記されたと考えられています。各巻の表紙見返しに室町戦国時代の公家・九条尚経による注記があり、九条家から三条西家へ渡り、三条西公福より加賀藩五代藩主綱紀へ贈られました。

綱紀はかねてより三条西家が所蔵する書跡典籍に関心を持ち、幼くして三條西家を継いだ公福を助けんと、書庫の造営や典籍の修復を援助します。やがて養女寿を公福に嫁がせ、享保三年（一七一九）、京より江戸に入った公福を自邸に招いた時、綱紀ははじめ『日本書紀』を見たとの記録があります。

今回展示するのは、巻第十一と巻第十七です。大鷦鷯天皇と称された仁徳天皇は、幼い頃から聡明で高い知性があり、また美男子であったといわれています。高台に登った時、国中をながめたところ、家から煙が立たないことに気づき、百姓の貧しさを案じ、税金を取らないことにした有名なエピソードが記されています。

国宝《日本書紀》

近現代工芸(第5展示室)

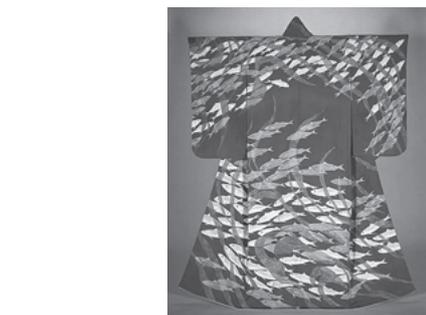
みんなで楽しむ

はじめての工芸 I

8月6日(土)~9月5日(月) 会期中無休

昨年度まで夏のコレクション展示室では「夏休み親子で楽しむ美術館」と題して、夏休みに美術館へ親子で来館される皆様に向けての特集展示を準備しておりましたが、今回は、親子という冠を「みんなで楽しむ」に変更し、夏休みに美術館へ訪れる皆様へ向けて、「ひとりでも楽しく家族でも楽しく作品鑑賞」という思いを加えての特集展示としています。今回、昨年コロナ禍のため途中で休館を余儀なくされ、公開期間も途中となった工芸の鑑賞入門となる「はじめての工芸」を、「みんなで楽しむはじめての工芸I・II」としてお届けします。

絵画・彫刻を鑑賞することは学校の授業に多く組み込まれています。その鑑賞は児童・生徒の折より幾度と経験してきているので、楽しくとも難しくとも何かを感じること・みることは出来るかと思うのですが、工芸作品を鑑賞するとなると、意外にも戸惑ってしまったり、なにやら難しく感じたりするようです。工芸はさまざまな材質、つくりかた、デザイン性などの見方・楽しみかたの切り口は多種多様にあるのですが、今回は絵画や彫刻を楽しむように、描かれているものや色などを楽しむ入り口を用意しました。また、展示も第5展示室壁面は低く展示を設定し、移動ケースの高さはそのままですが、踏み台を用意し、お子様目線も作品に届くようになっております。



木村雨山《友禅訪問着「魚のむれ」》

古美術(第2展示室)

古九谷と再興九谷 II

8月6日(土)~9月5日(月) 会期中無休

古九谷を論ずる際に避けて通れないのが、産地問題です。一時期は、古九谷を有田産とする説が有力と紹介されたこともありましたが、有田産説の根拠となつた素地の理化学分析や発掘成果の評価に問題があることから、現在、こうした極論は一部に止まっています。

有田の窯跡から、古九谷に類似する陶磁片が発掘されたにもかかわらず、古九谷の様式が再興九谷を経て今日まで、加賀の地にも継承されている事実は、古九谷の獨創性は加賀の文化風土と一体のものであることの、何よりの証左といえることができます。つまり有田で生産されたのは古九谷の模倣であり、その点では「古九谷様式」との呼称は妥当です。一六五〇年代以降、有田では確立された色絵磁器の技法を展開する方向性を摸索するために、古九谷を参照

したことは十分考えられます。

藩内に色絵磁器の需要がありながらも、加賀藩が古九谷の存続に慎重だったことは、前号で述べた古九谷誕生の背景に関係があると考えられます。しかし十九世紀にはいり、磁器の調達を京都や九州に頼っている経済的損失への反省もあり、加賀藩は本格的な色絵磁器生産に着手します。京都の名工、青木木米を招いて一八〇七年に開窯された春日山窯は、古九谷を志向していたと考えられますが、藩の殖産興業への意向に木米は同調できなかったようです。しかしその後、芸術性と経済効率とのバランスに揺れながらも、古九谷の獨創的な精神は、若杉窯や吉田屋窯をはじめ再興九谷諸窯に受け継がれていきました。



《色絵牡丹に菊図平鉢》 若杉窯

優品選

8月6日(土)～9月5日(月) 会期中無休

近現代絵画・彫刻のコレクションは、第3展示室で「鴨居玲 創造の軌跡」を開催していますが、同会場の一部を使用し版画を展示します。その中から季節にぴったりの脇田和《夏の帽子》をご紹介します。大きな帽子をかぶった少年が、餌を奪い合う鳥たちの様子に憂いの表情を浮かべている場面でしょうか。青年期にベルリン国立美術学校で学んだ版画技法から、アクアチントの面で明暗をつける繊細なトーンを効果的に使い、少年の心情が表現されています。

第4展示室では引き続き、昨年度に新収蔵となった絵画・彫刻作品を全て紹介しております。鹿見喜しかみきよ 陌みち松崎十朗(日本画)、高光一也(油彩画)、石田康夫、岩山豊郁、清水良治(彫刻)の作品を展示中です。また

油彩画では、高光と交流のあった四名の作家、竹沢基、南政善、宮本三郎、村田省蔵の作品を併せて展示します。南政善《肘をつく女》は、カラリストでありかつ奇知的な構図を得意とした、南の力量が感じられます。

第6展示室では通常通り、日本画を中心に季節の優品を展示します。その中から、稲元実《夏日》を紹介します。夏空と向日葵を背景に、しどけない様子の男女を描きます。二人は作者と妻。家族は稲元の主たるテーマでした。今夏、岐阜市の加藤栄三・東一記念美術館では「抒情の旋律 稲元実 日本画展」を開催します。当館の収蔵品からも二点が出品されます。



稲元実《夏日》

鴨居玲 創造の軌跡

8月6日(土)～9月5日(月) 会期中無休

九月七日は、昭和六十年(一九八五)に急逝した鴨居玲の命日にあたります。この時期に当館のコレクション展示室では、鴨居の特集展示を行ってきました。その内容や規模は様々ですが、今回は館蔵品を中心に寄託品を交えたおよそ十五点の作品により、わが国の洋画壇において孤高の境地を切り開いた鴨居の創作の歩みをたどります。

展示の構成

「旅立」画家を志し、金沢美術工芸専門学校に学んだ頃(二十代)

「模索」油彩という画材の扱いに葛藤し、超現実的な作風を見せた時代(三十代前半)

「飛翔」ブラジル・パリでの活動を経て、昭和会展・安井賞展で受賞し、一躍画壇で注目された時期

(三十代後半～四十代初)

「充実」渡欧しスペインでの制作をはじめとして自己の作風を確立していく時代(四十代)

「成熟」帰国後さらなる創造の深化を求めて苦悩する晩年(五十代前半)

「終焉」五十七年の人生の幕を下ろすとき

鴨居の創造の軌跡をふり返ると、「生へのあくなき情熱と、生からの解放をねがう欲求とが、烈しくせめぎ会って止まず(註)、何のために何を描くかということ、常に自分に問いつづけた生涯であったということができないのではないのでしょうか。

※註…生前親交のあった俳優・内藤武敏の鴨居への追悼の言葉より



鴨居玲《おばあさん》

企画展Topics 加賀宝生のすべて—能面と能装束—

9月17日(土)～10月23日(日) 会期中無休

能装束の中でも、もっとも豪華な装束は、若い女性役に用いられる紅入の唐織です。「中国(唐)の織物」の意味からこう呼ばれ、さまざまな模様が織り出されていることが特徴ですが、さて、この唐織にはどんな模様が織り出されているのでしょうか。

筆、船の帆、文(白く畳まれた手紙)、藤袴、縁雪、深見草(牡丹)、福寿草…そう、すべて「ふ」のつく模様なのです。国立能楽堂が所蔵するこの唐織は、弘化三年(一八四六)、加賀藩十三代前田齊泰の有卦入りを祝って、室である浴姫より贈られたため「ふ」づくしの能装束です。有卦無卦とは、今日ではあまりなじみはありませんが、よい年七年、よくない年五年が交互に訪れるという年回りをいい、同年の五月十九日には齊泰の有卦入りを祝う能も行われています。

演じられたのは(伏見)藤戸(藤)二人静(富士太鼓)船橋(船弁慶)…なんと、能も「ふ」づくしです。この唐織は、齊泰が演じた(藤)の前シテで用いられたと考えられます。

ところで、展覧会の準備を進める中で、別の美術館で、同じく弘化三年の五月に嫡子である慶寧より贈られた富士山と二葉葵模様という、「ふ」づくしの長絹も見つけてしまいました。こちらは(藤)の後シテか…。今号の裏表紙には、本展に出品する「ふ」づくしの能装束ばかり集めてみました。十二年後ということは、安政五年(一八五八)も有卦入りの年なのです。なんの「ふ」模様か、わかりますか？



《唐織 有卦船模様》弘化3年
国立能楽堂蔵

展覧会回顧 師弟の共演—石川ゆかりの作家と巨匠たち—

作家は自分のスタイルを確立していく過程において、様々なものごとを見聞きして吸収します。なかでも、若き日に出会った師の教えは、最も大きな影響を与える要素のひとつでしょう。インターネットもない、作品のカラー図版すら手に入れることが困難な時代には、現代のわたしたちが想像する以上に師の影響は大きかったです。本展は、石川ゆかりの作家たちがどのような場・かたちで師弟関係を結び、自身の作風を追い求めていったかを紹介する内容でした。

西洋美術との邂逅、画塾や個人的なつながりによる師弟関係、教育機関での研鑽という、3つのテーマで作家・作品を紹介するため、師の作品と弟子の作品を同時に見られるように展示を行いました。当館ではめずらしい西洋美術の優品、県内外からお借りした名品とともに、当館のコレクションもまじえて展示を構成しました。コレクションを見慣れているであろう方も、新しい視点で作品を楽しむことができたのではないのでしょうか。

また、展覧会図録には、展示室には掲示しなかったコラムや、初期の(現)金沢美術工芸大学出身者へのインタビューに基づく記事と写真などを収録することができました。会期後も販売していますので、ご興味のある方はぜひお求めください。

石川の美術形成を担った作家たち、そしてかれらを育てた巨匠たちの共演が、石川県立美術館で叶った夢のような一か月でした。みなさまに楽しんでいただけたならば幸いです。

(会期:令和4年4月24

日(日)～5月22

日(日))



当館所蔵作品が切手になりました

最近、誰かに連絡をするにもつばらメールが主流ですが、時にはハガキや手紙を送りたくありませんか？あるいは、かつて自分に届いた便りの切手が、ちょっと凝った切手で、嬉しかった思い出はありませんか？

このたび、当館所蔵の《色絵牡丹文平鉢 古九谷》が、切手になります！東京国立博物館・国立西洋美術館・根津美術館・畠山記念館など、日本を代表する美術館が所蔵する「黄色」の作品を集めた切手シート「美術の世界シリーズ第4集―黄色・黄金の世界―」のひとつです。クロード・モネの《黄色いアイリス》(国立西洋美術館)、ゴッホの《ひまわり》(SOMPO美術館)、クリムトの《人生は戦いなり》(愛知県美術館)、葛飾北斎の《諸国名橋奇覧》(すみだ北斎美術館)などと並ぶシートは、見ているだけで楽しく、ついつい誰かに便りを送りたくなくなってしまいます。(使うのももったいないかもしれません…)

切手の種類は84円と63円。改まった手紙でもよし、暑中見舞いのハガキでもよし。ぜひ郵便局でお買い求めのうえ、ご利用ください。

なお、この切手の発行のように、石川県立美術館の所蔵作品をテレビで放映したり、ポスターや書籍に掲載したりする際は、「特別観覧許可申請書」を提出し、許可を取るよう規則で定められています。年間七〇件ほどのこうした手続きも、美術館の大切な仕事のひとつです。

発行：日本郵便株式会社
名称：特殊切手「美術の世界シリーズ 第4集」
発行日：2022年8月3日(水)

学芸室の人々

村瀬博春(修復工房担当課長)

芸術作品の鑑賞は、他者の人生を生きることであります。その指針は、作品を生み出した作者や発注者の、思いの振幅と深度を測ることです。こうして作品に関わった人々の心を知ることによって、作品を理解することができます。石川県立美術館は、松田権六や鴨居玲の大作を所蔵しています。彼等の生前を知る者として、こうした作品に向き合うことは、時に苦痛でもあります。しかし、極限状態で制作された作品は、他者の痛みを知ることが芸術の重要な存在意義だと喝破しています。ここから個人の尊厳、そして個性や多様性を尊重すべき道理がわかります。だから、芸術には戦争を抑制する力があるのです。

8月の行事予定

■はじめてのころし ※募集は終了いたしました。

9日(火)

- ①親子で楽しむ回 …10時〜12時
 - ②オトナも楽しむ回…14時〜16時
- 定員…各回10組20名程度 ※要申込、応募多数の場合は抽選
材料費…おひとり二〇〇円(予定)

※日時や定員等を変更、または中止する場合がございます。
最新情報は当館公式ウェブサイトをご確認ください。

加賀宝生のすべて 一能面と能装束一

企画展Topics

会期：令和4年9月17日(土)～10月23日(日)



《唐織 有卦船模様》弘化3年
国立能楽堂蔵



《舞衣 福包に戻り笛振太鼓模様》安政5年
前田育徳会蔵



《縫箔 白鷺太藪模様》安政5年
国立能楽堂蔵



《長絹 富士山二葉葵模様》弘化3年
野村美術館蔵



《掛素襖 緑雪二葉葵模様》安政5年
高島屋史料館蔵

次回の展覧会

令和4年9月10日(土)
～10月23日(日)
会期中無休

		前田育徳会 尊経閣文庫分館	第2展示室
		特別陳列 小堀遠州と前田家	茶の湯の美
第3・6展示室	第4展示室	第5展示室	1F企画展示室
優品選 【近現代絵画・彫刻】	特別陳列 Water Planets展 —永遠の瞬間を前にして— 【油彩画】	みんなで楽しむ はじめての工芸Ⅱ 【近現代工芸】	加賀宝生のすべて —能面と能装束— 【9/17～10/23】

ご利用案内

コレクション展観覧料

一般 370円(290円)
大学生 290円(230円)
高校生以下 無料
※()内は団体料金
8月1日は第1月曜日より
コレクション展示室無料の日

開館時間

午前9:30～午後6:00

カフェ営業時間

午前10:00～午後6:00

8月の休館日は
2日(火)～5日(金)

広告

『石川県立美術館だより』に広告を掲載しませんか？

石川県立美術館友の会会員・石川県立美術館協力者・**郵送配布!**
県内各行政機関及び文化施設・全国の美術館・博物館へ

↓ ↓ ↓ 詳しくはお問い合わせください ↓ ↓ ↓

WiT 株式会社ウィット Tel.072-668-3275 株式会社ウィット 検索

〒569-0071 大阪府高槻市城北町1丁目14-17-501 Fax.072-668-3276 HP.https://wi-t.co.jp/

WEBお問合せ
フォームはコチラ

石川県立美術館だより
第466号(毎月発行)
2022年8月1日発行
〒920-0963
金沢市出羽町2番1号
Tel:076(231)7580
Fax:076(224)9550
URL https://www.ishibi.pref.shikawa.jp/

石川県立美術館は電源立地地域対策
交付金を活用して運営しています。